

令和7年度外部評価 事業評価シート

No	3	事業名	図書情報館 I C T活用事業（利用者用パソコンデータベース）
----	---	-----	---------------------------------

所属	市民生活部 アンフォーレ課 図書情報係	事業開始年度	平成29年度
事業内容	図書情報館3階の「データベースパソコンコーナー」にあるデータベースパソコンから新聞、雑誌・論文、法情報や市場情報などが検索できます。17種類のコンテンツから研究やレポート作成などに役立つ様々な情報を提供しています。		
目的	ハイブリッド型図書館として、紙媒体の資料に加え、データベースや電子書籍を始めとした幅広い資料による情報の提供を利用者に行い、研究やレポート作成などに役立てていただきます。		
根拠法令等	図書館法第2条及び第3条		
総合計画	分野別計画11 生涯学習		
関連事業			
事業の必要性	図書館は、図書館法第2条において「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」であることが定められています。 図書情報館は令和5年度に同規模自治体の中で、図書館資料貸出冊数や市民一人当たりの図書年間貸出冊数（貸出密度）が全国1位になりました。これらの指標は図書館サービスの充実度を示す数値でもあります。今後も継続して利用していただけるように、ハイブリッド型図書館として、紙媒体資料に加え、データベースや電子書籍などのきめ細やかなサービスを充実することで、図書館資料を通じた豊かな暮らしの提供と多様な課題解決に対応していくことが求められています。		

【実施状況】どのような活動をしてきましたか

活動実績	【主な事業】 ・利用者用パソコンデータベースの整備（詳細は別紙のとおり） 令和6年度：17種類 令和5年度：16種類 令和4年度：15種類 ・利用者用パソコンの設置台数 令和4～6年度：4台 ・PRイベントの開催 令和6年度：1回 「毎日の新聞からつながる〇〇ヒストリー 「毎索」活用講座」 - 令和5年度：2回 「図書情報館で学ぶ「野菜づくり」」 「あなたのビジネス支えます！「データベースMieNa（ミーナ）」を使ってみよう」 - 令和4年度：1回 「楽しく使おう！「朝日新聞クロスサーチ活用講座」」 ・情報の発信 令和6年度：広報1回、LINE1回、チラシ設置、図書情報館イベントでチラシ配布、館内デジタルサイネージでチラシの画像を表示 - 令和5年度：広報12回、LINE10回、新しいチラシの追加・設置 - 令和4年度：広報1回、LINE5回、チラシ設置、図書情報館イベントでチラシ配布
------	---

【事業費】どのくらい市税等の一般財源が投入されていますか。どれくらい費用が掛かっていますか。

年間事業費等の推移	No	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	①	事業費(決算額) (千円)	3,445	3,476	4,198
	事業費内訳	補助金			
	②	人件費(従事職員数×6,600千円 令和6年度からは6,700千円) 従事職員数 (人)	6,600 1.0	6,600 1.0	6,700 1.0
③	総事業費(①+②) (千円)	10,045	10,076	10,898	
財源内訳		一般財源 (千円)	3,445	3,476	4,198
		特定財源(など) (千円)			
		財源合計 (千円)	3,445	3,476	4,198

【活動指標】成果を達成するために必要な活動とその量

	令和6年度（実績）	令和7年度（目標）	令和8年度（目標）
・PRイベントの開催	1回以上	1回以上	1回以上
・利用できるデータベースの種類	17種類	17種類	17種類

【成果指標】この事業が目指す姿と目標値

	令和6年度（実績）	令和7年度（目標）	令和8年度（目標）
目指す姿：データベースを利用者の研究やレポート作成などに役立てていただくこと ・データベース利用回数	227件 （1日平均0.77件）	1日平均1件以上	1日平均1件以上

【課題】成果を達成する上で、課題・障壁となっているものは何ですか

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	令和6年度に実施した「eモニターアンケート」のデータベースに関する設問において、「知っているし利用したいが、使い方が分からない」が「7%（41件）」、「知らなかったが、今後は利用してみたいと思う」が「39%（222件）」となっています。データベースの存在及び活用方法の周知が足りていないと認識しています。

【論点】課題・障壁を取り除くための取組内容

外部評価での論点	PRイベントなどでデータベースを利用された方からは好意的な意見を聞いています。図書館資料として有効なコンテンツであると思います。 別事業である電子書籍では、市内学校にもPRを行うことで利用実績が非常に伸びました。データベースについても、同様のPRを行うことを考えています。PRイベントについても、今年度実施するメディア・リテラシー講座でデータベースの操作方法だけでなく、活用方法を含めた内容を説明します。
----------	---

令和7年度外部評価 事業評価シート

【参考比較】

法律や政令等により、市の裁量では、改善、廃止など変更ができない内容がある場合は、簡潔に記載してください。

他市の 実施状況等

※岡崎、碧南、豊田、刈谷の4市に

- ①データベースの種類
 - ②データベースの利用件数
 - ③データベースのPR方法
- 上記3点を確認。

- 岡崎市：①9種類（令和6年度時点）（詳細は別紙のとおり）
 - ②令和4年度：2,216件
 - 令和5年度：1,542件
 - 令和6年度：1,553件
- ③法情報データベース利用講座の開催、ビジネスサポートセンターと連携し、データベースを活用したセミナーを開催
- 碧南市：①4種類（令和6年度時点）（詳細は別紙のとおり）
 - ②令和4年度：5件
 - 令和5年度：6件
 - 令和6年度：17件
- ③特に対応していない
- 豊田市：①10種類（令和6年度時点）（詳細は別紙のとおり）
 - ②令和4年度～令和6年度の利用件数は非公表
 - ③図書館のホームページやチラシ・館内のPOPなどで周知
- 刈谷市：①2種類（令和6年度時点）（詳細は別紙のとおり）
 - ②令和6年度：5,121件（令和6年度開始のサービス）
 - ③図書館のホームページやチラシなどで周知

【事業開始の経緯】

様々なデータベースを図書館利用者に無償で検索・閲覧する環境を提供し、研究やレポート作成などに役立てていただくことを目的に導入しました。
利用者の利便性の向上により、利用者の拡大につながることを期待しました。

【事務事業の内容の変遷（利用件数の推移）】

年度毎にバラつきがあり、一方的に数字が減少しているわけではありませんが、令和6年度は令和5年度に比べると減少率が高かったです。

- (1) 平成29年度：160件
- (2) 平成30年度：224件
- (3) 平成31年度：387件
- (4) 令和2年度：151件
- (5) 令和3年度：307件
- (6) 令和4年度：303件
- (7) 令和5年度：323件
- (8) 令和6年度：227件

【事務事業の改善内容】

様々なPR方法を試しています。ただ、有効なPR方法を確立できていない状況です。

- (1) 利用促進取組
 - ①WebサイトやSNSでPR
 - ②図書館情報館内でのチラシ設置やデジタルサイネージでのPR
 - ③PRイベントの開催
 - ④チラシデザインのリニューアル
- (2) 提供内容の精査
 - ①提供データベースの増減
 - ②データベース閲覧席の削減

経年の状況 (事業開始の経緯 や改善の経緯)

【図書館来館者数（参考）】

- (1) 平成29年度：763,002人
- (2) 平成30年度：784,302人
- (3) 令和元年度：759,416人
- (4) 令和2年度：400,489人
- (5) 令和3年度：498,869人
- (6) 令和4年度：521,237人
- (7) 令和5年度：600,996人
- (8) 令和6年度：637,473人